

最多の生活保護世帯締め付け

6/10 赤旗

安倍政権の下で大企業と富裕層に富が集中する一方、生活保護世帯は163万世帯を突破し過去最多となっています。ところが、政府の「1億総活躍プラン」では生活保護の拡充には一言もふれていません。それどころか、生活保護の締め付けを強め、受診遅れで亡くなる人まで出ているのが現実です。

(鎌塚由美)

「1億総活躍」現場からの批判

昨年末、千葉県内の病院に緊急入院した昭夫さん(74)は、入院から1カ月もたずに亡くなりました。末期の大腸がんが全身に転移していたからです。

昭夫さん(74)は、入院から1カ月もたずに亡くなりました。末期の大腸がんが全身に転移していたからです。

昭夫さんは長年、電気工事会社で働いてきました。昭夫さんは長年、電気工事会社で働いてきました。昭夫さんは長年、電気工事会社で働いてきました。

保険証なく がん全身転移、手遅れ

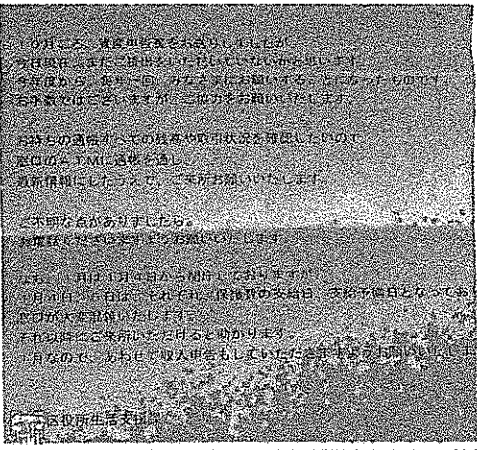


昭夫さんの形見の時計を手にするユキ子

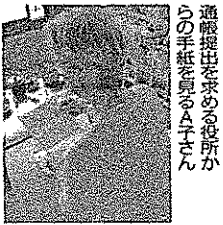
申請窓口に行きました。しかし、窓口の職員は2人の話を5分も聞かないうち「持ち家がある。親族に収入がある。ダメ、ダメ」と一方的に話を打ち切り、申請さえ受け付けませんでした。

その後、昭夫さんは腹水がたまり、動けなくなりました。そのため、連絡を受けたユキ子が「このままでは死んでしまおう」と知人の議員と一緒に生活保護を申請。市も無視できなくなり、ようやく申請が認められました。しかし、すでに全身はがんにもよじまわっていたので、千葉県生活と健康を守る会連合会の妹尾七重会長は

通帳コピー提出。「財布の中いくら」



A子さんが受け取った通帳提出を求める手紙



通帳提出を求める役所からの手紙を見るA子さん

「生活に困窮していても、生活保護を利用する権利が国民にはあります。その人が基準に合っているかどうかは、申請を受理した後に判断すればよいことです。申請権さえ奪う、水際作戦」は憲法上生活保護法に基づき運用ではありません。

生活保護世帯は3月に163万5000世帯となり過去最多を更新(1日公表)しています。高齢者世帯は82万6000世帯で、初めて全体の半数を超えました。

「生活に困窮していても、生活保護を利用する権利が国民にはあります。その人が基準に合っているかどうかは、申請を受理した後に判断すればよいことです。申請権さえ奪う、水際作戦」は憲法上生活保護法に基づき運用ではありません。

および生活を自ら決する自由があり、それは憲法25条に根ざすものだ」と批判しました。

国は「最大限、フライバシーは守らないといけない(塩崎恭久厚労相)」と述べつつも、財布の中身について「たくさん入っているのなら見せてください」とのケースは出てきている。(石井淳子・社会・援護局長と答弁するなど、反省を示しません。

最新情報にしたうえで、来所をお願いする」との手紙を受け取りました。A子さんは、言われるがまま役所に通帳を持参。通帳のコピーを取られたうえ、帰り際に「財布の中はいくらありますか」とまで聞かれました。これまで申請時だけ実施していた資産調査を毎年(14年3月)を出したからです。

ケースワーカーから執拗(じつよう)に提示を求められ、不眠や精神不安定に追い込まれる事例も続出しています。

日本共産党の辰口孝太郎議員は参院厚生労働委員会(3月22日)で、生活保護利用者の預貯金は、耐久消費財の買い替え、子どもの教育費、家族の葬式代など必要な費用が認められていると追及。「自らの生き方を

前出の妹尾会長は「生活保護制度は国民生活の土台です。生活に困窮したら、生活保護を利用し、生活を立て直していく権利が国民にあり、国はそれを保障する義務がある。それを踏みにじる安倍政権の姿勢が問われます」と語ります。

低すぎる捕捉率

日本の生活保護の捕捉率(生活保護対象者で実際に利用している割合)は約2割と推計されています。先進諸国と比べても日本の捕捉率の低さが指摘されています。ところが「1億総活躍プラン」では、「誰もが活躍できる全員参加型の社会」と掲げながら、貧困と格差の解消は一言もふられていません。(アベノミクスは大きな成果を生み出した)として、深刻な実態を見ようとするいからで